

(表)

高齢 障がい 母(父)子 子育て 大家族 DV・引揚・犯罪 他

H23 24 25 26 27 28 29 30 31 R2 3 4 5 6 7 合計

抽選番号

北海道営住宅入居申込書

申込者	現住所 (〒 -)						(ふりがな)		
	本籍地(市町村)						氏 名		
	電 話(自宅) (会社等 または携帯)								
道営住宅に入居する者等	(ふりがな) 氏 名		続柄	生年月日	年齢	職業	勤務先の名称・所在地	勤続年数	年間収入
	入居者		本人	・ ・					
	同居する親族			・ ・					
				・ ・					
				・ ・					
				・ ・					
	別居扶養親族			・ ・					
				・ ・					
希望の団地等	住宅区分		一般住宅又は特定目的住宅・子育て世帯向け住宅						
	団地・地区名		団地		棟	部屋番号	号室	階数	階
	特定目的住宅への入居希望		希望する・しない		希望する目的の住宅				
			特殊事情						
	摘 要		優遇措置： 高齢 障がい 母(父)子 子育て 大家族 DV 海外引揚 犯罪被害 新婚 転入 原子力被災						

注 太枠の部分に記入してください。(「団地・地区名」欄には団地名及び棟を、「部屋番号」欄には号室を記入してください。)
また、抽選番号を増やす優遇措置をお使いになるときは、「摘要」欄の該当する要件に○印を記入してください。

<収入計算表>

ここは、記入しないでください。

(裏) 調査・確認事項

1 所得	=	3 公営住宅法に定める収入月額
	=	
	=	所得金額:
所得合計=		一控除金額:
2 控除額		収入年額:
基礎控除額 100,000 × 人=		収入月額:
同居・扶養控除額 380,000 × 人=		4 令和7年度入居収入基準
老人扶養控除額 100,000 × 人=		158,000円
特定扶養親族控除額 250,000 × 人=		5 入居収入基準 適合 ・ 不適合
障害者扶養控除額 270,000 × 人=		審査者名:
特別障害者控除額 400,000 × 人=		
寡婦控除額 270,000 × 人=		
ひとり親控除額 350,000 × 人=		
控除額合計=		

住 宅 の 困 窮 状 況	次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。 1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。 2 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便を受けている。 4 住宅がないため、親族と同居することができない。 5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住状態にある。 6 自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退きを請求され、適当な立退き先がない。 7 住宅がないために勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 8 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。 9 その他(具体的にお書きください。)
現 在 の 住 宅 の 状 況	現在居住している住宅の種類 1 民間アパート・賃貸マンション 2 寮 3 借間・下宿 4 都市再生機構・公社住宅 5 社宅 6 公営住宅 7 借家 8 その他()
	現在居住している住宅の間取り
	現在居住している住宅の家賃等 (生活保護で住宅扶助を受給されている方は、その金額も書いて下さい。)
	現在居住している世帯構成

この申込みについては、次のことを誓約します。

1 この申込書に記載した事項は、すべて事実と相違ありません。

2 この申請書に偽りの事項があった場合は、道営住宅の入居決定の取消しを受けても異議を申し立てません。

3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しません。

4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。

令和 年 月 日

北海道上川総合振興局長 様

申込者氏名

印

<処理欄>

有料駐車場申込: 有 ・ 無	当選	当選 ・ 落選
	団地	
	住戸	

